

○ 本校の概要

本校は昭和22年に開校し、私鉄の4駅に囲まれた交通至便な住宅街にあり、現在は12学級、全校生徒378名の中学校である。敷地は風致地区内にあり、自然に溢れ、4月に校庭一面桜の花で覆われる。勝海舟記念館と、風光明媚な足洗池に隣接し、池の周囲を15分ほど歩ける周回路は、運動会の長距離走のコースとなっている(令和2、3年度は中止)。生徒たちはこの池にホタルを自生させる活動に取り組み、毎年、風情は地域の方から喜ばれている。また、落ち葉を集めて作ったミズゴボスト、夏の直射しをささるコーヤのグリーンカーテン、さらに近隣の大岡山駅北口の駅前花壇作り等もしている。教育目標は「気品のある生徒の育成」「実力のある生徒の育成」「健康のすぐれた生徒の育成」の3つを掲げている。2011年にユネスコスクールに加盟し、地域を「屋根のない学校」と考え、教育活動を進めている。地域の中で、地域の人々と共に、地域のために活躍できる人材を育成するために、「環境を保全する環境教育」「災害に立ち向かう場所としての防災教育」「国際理解・国際交流教育」「地域連携教育」「人権・人命尊重・平和教育」に取り組み、生徒の自己有用感、自己肯定感を育んでいる。自分の育った地域に愛着を持ち、郷土愛を育み、将来の日本や世界の様々な課題を考え解決して、心豊かに生きていく基盤となる教育実践を行い、SDGsを到達目標とながら、20年・30年

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 6 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, 学校関係者記入欄. The table contains detailed self-evaluation data for various categories like 'Future Society Creation', 'Child-Centered Learning', 'Sports', 'Physical Education', 'Child Safety', and 'School/Community Cooperation'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する